

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク  
九州支部設立記念フォーラム

$\Sigma$  Kyushu > 7  
ひとつひとつではない一つの九州へ

-官民連携で作り上げる2050年のプラチナ社会実現を目指して-  
(佐賀・長崎編)

**開催日時** 2023年2月6日(月)15:00～

**会場** 天山多久温泉 TAQUA タクアホール  
(佐賀県多久市北多久町大字小侍4644-1)

**プログラム** ※プログラムは予告なく変更する場合があります。

14:30 開場

15:00 開会挨拶 一般社団法人プラチナ構想ネットワーク事務局長 平石 和昭  
多久市長 横尾 俊彦 氏

15:10 来賓挨拶

15:20 基調講演「九州にプラチナ社会を実現しよう」  
一般社団法人プラチナ構想ネットワーク会長 小宮山 宏

15:50 休憩

16:00 パネルディスカッション「プラチナ社会の実現に向けた地域の連携(仮)」  
モデレーター：一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 九州支部長 幕 亮二  
パネリスト：多久市長 横尾 俊彦氏  
株式会社バイオテックス 代表取締役 原田 烈氏  
佐々町 多世代包括支援センター 参事 江田 佳子氏  
一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 長野支部長 平尾 勇

17:00 閉会

17:00 ネットワーキング(名刺交換&交流会)

※ホワイエにご移動いただき、来場者同士での名刺交換や交流会を行っていただきます。

【申込方法】下記URLから申し込み

<https://forms.gle/r3eqC2bBGeKDYrU78>

主催：一般社団法人プラチナ構想ネットワーク

問い合わせ先：一般社団法人プラチナ構想ネットワーク事務局  
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3 東急キャピトルタワー9F  
TEL.03-6858-3546 MAIL: ml-shibu@platinum-network.jp



## 支部設立及び本フォーラムの目的

- ✓ 一般社団法人プラチナ構想ネットワークでは「課題先進国」日本が世界に先駆けそのソリューションを発信することで「課題解決先進国」になるべく、官民連携のプラットフォームとしての役割を任じ活動を行っております。
- ✓ 九州地域は、各県出身者の多くが「九州ブランド」に愛着を持ち、対外的にも一体感のある地域として捉えられることが多い一方、各県・地域が独自の多様な文化・気質を誇るという特徴があると感じています。課題解決の社会実装を促進するためには、この多様性という特徴を踏まえた、広域的な情報共有による競争と成功事例の横展開を図ることが必要だと考えます。本年度より、会員である株式会社MK総合研究所の幕亮二所長（北九州市立大学特任教授）を九州支部長とし、九州における具体課題への取り組みを本格化させて参ります。
- ✓ 先ずは隣県会員の交流促進を目的に、複数回のフォーラムの開催を企画いたしました。第一回の今回は、佐賀・長崎両県内の会員の皆様と協力し開催いたします。

## 登壇者紹介



**小宮山 宏** 一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 会長  
株式会社三菱総合研究所理事長、東京大学第28代総長

1972年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、東京大学工学部長等を経て、2005年4月に第28代東京大学総長に就任。2009年3月に総長退任後、同年4月に株式会社三菱総合研究所理事長に就任。サステナブルで希望のある未来社会を築くため、「エコで、資源の心配がなく、老若男女がだれでも活躍し、心もモノも豊かで、雇用のある社会」を「プラチナ社会」と提言。2010年8月には、プラチナ構想ネットワークを設立し、会長に就任。2022年1月に一般社団法人化した。



**横尾 俊彦 氏** 多久市長

慶應義塾大学法学部卒業後、松下政経塾に第1期生として入塾。1997年、多久市長に就任、現在7期目。内閣府地方分権改革推進委員会委員、佐賀県市長会長、全国市長会副会長などを歴任。現在、全国ICT教育首長協議会会長、全国後期高齢者医療広域連合協議会会長、全国市町村職員共済組合連合会理事長、厚生労働省社会保障審議会医療保険部会委員、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員などを務める。



**原田 烈 氏** 株式会社バイオテックス 代表取締役

平成21年より株式会社バイオテックス代表取締役。土木工事に携わる中で地中にある熱エネルギーに関心を持ち、自社の掘削技術を活かした地中熱利用技術開発に取り組む。秋田大学、佐賀大学と地中熱利用に関する共同研究を行う。有田焼の技術を活用して陶磁器製の掘削治具のヘッドを製作する。佐賀県「第6回佐賀さいこう企業賞」受賞。現在は、佐賀の地中熱・未利用熱の活用普及に向けて産学官で連携を取り進めている。



**江田 佳子 氏** 佐々町多世代包括支援センター 参事（保健師）

九州厚生局 地域包括ケア構築アドバイザー。佐々町役場に入庁後、健康相談センター勤務を経て、地域包括支援センター新設時より地域包括ケアの推進に携わる。佐々町として、第7回「健康長寿をのばそう！アワード」介護予防・高齢者生活支援分野厚生労働大臣最優秀賞受賞。現在、R4年4月より新設した多世代包括支援センターにて、地域共生に向けた地域まるごとケアの推進に取り組んでいる。



**平尾 勇** 一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 長野支部長  
株式会社地域経営プラチナ研究所 代表取締役

長野市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業卒、(株)富士総合研究所、八十二銀行を経て松本市商工観光部長を務め、現在(株)地域経営プラチナ研究所代表取締役。「経験と勘」から「対話とデータ」による地域づくりをモットーに、EBPM (Evidence Based Policy Making) による地方創生と自治体政策形成力の強化に取り組んでいる。



**幕 亮二** 一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 九州支部長  
株式会社MK総合研究所 代表取締役

早稲田大学大学院経済学研究科修了。(株)三菱総合研究所にて地域政策・交通政策・PFI/PPP等官民連携事業に携わり、五十知命Uターンし独立起業。九州を中心に幅広い官民連携事業を支援している。北九州市立大学大学院マネジメント研究科特任教授。共編著『航空・空港政策の展望—アフターコロナを見据えて』中央経済社刊（第14回住田航空奨励賞）、共著『スマート物流 物流サービスのスマート化が社会と経済を変える』毎日新聞出版刊。